

12. 進 路

早期に既存技術をマスターし若い柔軟な頭脳で次へのステップに進むことのできる高専生、更に高度な専門技術教育を受けた専攻科生は、工業・工学の分野で大変有利です。従って高等専門学校には求人も多く、編入学の門戸も開かれています。また、専攻科を修了することにより大学院への進学の道もあります。しかし、いざ自分のこととなると進路を決めていくのは難しいものです。

1・2年生では専門分野への導入教育としての役割を担った科目があります。また、ホームルームの時間を利用して専門学科の教員が専門の紹介も行います。このような授業ではどんどん質問をして、各専門での幅広い分野や社会と専門との係わりを知るようにしましょう。

進路を考える際に、自分自身について知ることも大切です。学生相談室では、希望者に対して、「職業レディネス・テスト」、「YG性格検査」などを実施しています。高学年になるまでに興味と関心を持つ分野を自覚できるようにしましょう。

情報メディアセンター2階ロビーや各学科の進路資料室には進学・就職の詳しい資料があります。各学科の進路資料室には先輩達の努力によって蓄積されたものも多くありますので、閲覧する時は担当の教員に了解をとり、大切に扱ってください。

また、卒業までに進路を変更したい場合は担任に相談しましょう。相談者の希望や学年に応じた可能性が検討されます。

以下、進路の概要を掲載しますが、進路先については各学科のホームページを参照するほか、詳しい内容は担任や担当教員に問い合わせてください。

(1) 進 学

1. 専攻科進学

本校の学科では5年間の一貫教育で実践力に優れた技術者を育てていますが、卒業後さらに学科と整合性の高い2年間の勉学と研究を通じて、大学学部とはひと味異なった実践力に優れた創造的技術者を養成するために専攻科があります。専攻科修了生は、一定の要件を満たせば、大学改革支援・学位授与機構から学士(工学)の学位を取得することができます。

専攻科の入学定員は、機械・電子システム工学専攻8名、建築・都市システム工学専攻8名の計16名で、推薦及び学力により選抜します。

学科卒業生は、本校だけでなく、他の高専に設置された専攻科にも進学できます。

2. 大学編入学

卒業後の進路としては、大学3年次編入学を選ぶこともできます。現在100余の国公立大学が高専卒業生を3年次(一部2年次)に受け入れるための編入学試験を行っています。

編入学試験の英語に対してTOEIC公開テストやTOEFLの結果を利用するところが多くなっています。また、受験資格になっているところもありますので注意してください。

試験の時期は大学によって非常に異なりますので、興味のある学生は、募集要項等で確認してください。学校に送付のあった募集要項については閲覧を図書館で、過去問題については貸し出しを学生課で行っています。

3. 大学院入学

専攻科を修了すると国公立大学の大学院への進学ができます。試験等の時期は各大学によって異なります。また、大学院の入学試験で英語に対してTOEIC公開テストやTOEFLの結果を利用するところが多くなっています。また、受験資格になっているところもありますので注意してください。大学院への進学を希望する学生は、専攻科1年のときにTOEIC公開テスト等を必ず受けておいてください。

(2) 就 職

本校への求人倍率は、不況期にあっても常に10倍を超えています。卒業生に対する社会的評価は高く、一流企業をはじめ特色ある各種企業、官公庁などでも多く活躍しています。このような恵まれた状況を維持するためにも、日頃から勉学に励み、社会の求める実力をつけることが必要です。就職希望者は、できる限り早い時期から希望する産業分野や企業に関する情報を収集し、企業の経営分析などを進めてください。

(3) 高専専攻科出願票・大学編入学出願票・大学院入学出願票・求職票

専攻科入学試験、大学編入学試験、大学院入学試験や就職試験を受ける際には、それぞれ下記のとおり学生課に提出してください。

| 届出書類 | 提出期限 |
|----------------------------------|----------------|
| 高専専攻科出願票 大学編入学出願票 大学院入学出願票 | 願書受付開始日の10日前まで |
| 求職票（就職） | 提出書類締切日の7日前まで |

※ただし、提出期限は土日・祝日を除きます。休日等を含む場合、余裕を持って提出してください。